

出合いの卯月

皆様お久しぶりです、大瀧です。先日のレポートでは、桜の写真と共に春の訪れを報告しましたが、この頃天気はかなり不安定で、寒の戻りを感じながら過ごしております。日本の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

そんな中、4月中旬ごろに平成30年度の奨学生の方とお会いする機会がありました。授業後、山西省の郷土料理である刀削面（刀削麺）や、过油肉（肉と玉ねぎの炒め物）また銅火锅（銅製の鍋で食べる伝統的な火鍋）などを食べに行きました。お話をしていく中で、留学生寮や授業のスタイル等、以前の山西大学の姿とは変化した部分が多くあることを知りました。また、お互いが留学生活の中で苦労したことや、慣れるのに時間がかかったこと等は思いのほか共通していることも多く、当時を思い返して非常に懐かしく感じました。語学のクラスでは日本人が私1人という環境で生活しているため、やはり日本の方と久々に直接お話しするのは何だか非常に新鮮で、あっという間に時間が過ぎていきました。この奨学生プログラムを通じて得た貴重な繋がりを、今後も大切にしていきたいと思えます。



話は変わりますが、日本語由来の中国語単語が多くあることを皆様はご存知でしょうか。先日阅读（リーディング）の授業で、“英语借走的中文词”（中国語由来の英語）という文章を読み、その宿題として各国の言語由来の中国語を紹介する機会がありました。日本語が中国語の影響を大きく受けている言語であることは、漢字を使用していることから容易に想像ができると思います。しかしながら、日本国内で漢字を用いて作られ、中国に伝わって使用されている単語も多く存在しているのです。今回はその代表例をいくつかご紹介したいと思います。

1. 电话 diànhuà : 電話のこと。昔は德律风 délǚ fēng と呼ばれていたそう
2. 时间 shíjiān : 時間。生活の中の基本単語ですね
3. 社会 shèhuì : 日本語とまったく同じ社会のことです
4. 经济 jīngjì : 経済です。こちらも日本語とまったく同じ
5. 料理 liàolǐ : 意味に加え「りょうり」の発音にも非常に似ています

いかがでしょうか。あまりにも生活の中でよく使う単語のため、それが日本語由来だとは私も予想もしていませんでした。このように見えてみると、日本語と中国語が非常に密接に関係している言語だということが改めて実感でき、なかなか興味深いです。今後の生活の中で出会う単語も、もしかすると日本語にルーツを持つ言葉が沢山あるかもしれませんね。